

# 人口減少対策に係る当初予算(案) について

- 「三重県人口減少対策方針（R5.8）」に基づき、市町や企業などさまざまな主体と連携しながら、人口減少のスピードの緩和をめざし、全庁を挙げて効果的な取組を着実に実行します。
- 三重県の課題である、【若者（特に女性）の県外流出】や【ジェンダーギャップ指数（経済分野）全国46位】に対応するため、**ジェンダーギャップの解消**や**移住・人口還流の促進**に向けた、「**自然減対策**」及び「**社会減対策**」を両輪とした取組をすすめます。

### 自然減対策

#### ジェンダーギャップの解消

解消に向けた方針の策定

- 新 ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定

ニーズ把握・意見聴取

- 新 非正規雇用における実態調査の実施

アンコンシャス・バイアスの解消

- 新 企業トップ・リーダー層の意識啓発のため企業訪問・ワークショップや本気宣言を実施

- 新 働く女性のキャリアの継続やキャリアアップに向けた女性ロールモデルとの交流会をエリアを分けて実施

- 新 先進企業や活躍する女性等の情報を一元的に発信するためのポータルサイトの構築

- 新 職場での男性育休推進ツールの整備、企業向けセミナーの実施

- 新 市町や企業等の意識醸成にむけたフォーラムの開催

- ・ 人口減少対策・人材確保に向けた産学官連携懇話会と連携し、県内企業への取組を促進
- ・ 固定的性別役割分担意識にとらわれない社会の実現に向けた教育の実施

### 社会減対策

若者（特に女性）が働きやすい環境整備

- 新 短時間正社員制度等の導入・活用の促進（奨励金の支給、専門家による伴走支援等）

- 新 非正規雇用の正規雇用への転換を促進するため、県内企業向けセミナーを実施

- 新 家事代行サービス利用補助の促進（みえ子ども・子育て応援総合補助金）

- 新 女性のデジタルスキル習得に向けた研修を実施

- 新 保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能の強化

- 新 農業等を対象とした女性を含む多様な人材が働きやすい環境や受入体制の整備に対する補助

- ・ 働きやすい職場環境づくりが進むよう優良事例を表彰・広く情報発信

- ・ 若年女性等を対象に「三重で楽しみ、働く魅力」をPR、ニーズに合わせた就労支援

働く場の確保

- 新 インキュベーション施設の整備を行う事業者への補助

- 新 県外から企業の一部機能（調査・設計部門等）の誘致を促進するため、スタートアップやIT関連などの進出企業に対する人件費補助

#### 希望がかない、安心して子どもを産み育てることができる環境整備

- 新 結婚を希望する方向けのAI等を活用したマッチングシステムの導入、

- 安全・安心な出会いの機会の提供に向けた新たなサポーター制度の構築

- 新 セミナー・検査・医師アドバイスを一体としたプレコンセプションケア事業の実施検討

- 新 子ども医療費の現物給付に係る市町補助について、対象年齢を拡大

- 新 保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」における

- 人材バンク機能の強化 ※再掲

- ・ 市町への「みえ子ども・子育て応援総合補助金」による支援

#### 人口還流の促進

プロモーションの強化と相談体制の充実

- 新 移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションを実施

- 新 移住者の増加に向け、名古屋・大阪に加え東京での県独自移住フェアを開催

- 新 県外在住の転職希望者へU・Iターン転職の実例等を発信するとともに、

- 転職支援セミナーや転職相談を実施

- 新 移住や就職への関心がまだ高い層に対してさまざまな媒体を活用して県の魅力を発信

- ・ 県内就職情報等を三重県出身者にLINEで発信

移住者受入態勢（仕事・住まい）の充実

- 新 非正規雇用の正規雇用への転換を促進するため、県内企業向けセミナーを実施 ※再掲

- 新 市町等への「三重県移住者の受入態勢充実支援事業補助金」による支援

県内就労促進に向けた取組

- 新 進学希望者が多い普通科で学ぶ高校生を対象とした、県内企業の技術やノウハウを

- 体験できる企業展の開催

- 新 県内居住等の条件を満たした場合に奨学金返還額の一部を助成する制度を拡充、企業による

- 奨学金の代理返還助成制度の導入を促進

#### 市町・企業との連携

市町との連携

- ・ 市町への「みえ子ども・子育て応援総合補助金」による支援 ※再掲

企業との連携

- ・ 人口減少対策・人材確保に向けた産学官連携懇話会等での議論をふまえた対策の推進

### 人口減少対策に関連する取組

- 新 現状やこれまでの取組を踏まえた、県人口の将来推計を示す「三重県人口ビジョン」の改定

- 新 公共ライドシェアの導入など交通空白の解消に取り組む市町への支援

#### 人口減少社会への適応

- ・ 南部地域における多様で柔軟な働き方の確立や第一次産業の繁忙期の人手不足を補うための、スポットワークの利用促進に向けた実証

- ・ 南部地域における農林水産業の作業体験や地域の伝統行事への参加などによる関係人口の創出、地域で活躍する人々のネットワーク形成

- ・ 中小企業等が、首都圏等の都市部に勤務するDX人材等の副業・兼業人材を活用する取組を支援

- ・ 津駅周辺における賑わいの創出等を図るため、津駅東口通りの歩道空間拡張の設計を実施

# ジェンダーギャップの解消に向けた取組について

## これまでの取組

全国に先駆けて

「**三重県人口減少対策方針**」を策定



-対策の5つの柱の1つに  
**ジェンダーギャップの解消**

### 主な取組

- ・男性の育児・家事の事例を表彰、男性の育児休業取得事例の発信
- ・「みえの働き方改革推進企業」の登録・表彰
- ・従業員100人以下の県内企業に対し、一般事業主行動計画の策定を支援

### 令和5年度実績

- ・男性の育児休業取得率  
9.4% → **25.7%**
- ・多様な就労形態を導入している  
県内事業所の割合  
87.4% → **88.7%**
- ・女性活躍の推進に向けて取り組む  
常時雇用労働者100人以下の団体数  
391団体 → **427団体**

一方で

### 都道府県別ジェンダーギャップ指数（経済分野）

**全国46位**  
(2024年)

- ✓ フルタイムの仕事に従事する割合の男女比 **全国40位**
- ✓ フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差 **全国46位**
- ✓ 共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差 **全国41位**

さらなる効果的な取組の推進に向けて

さまざまな立場の人から意見聴取

- ▽みえ働くサスティナラボ  
(県内企業で働く若手・中堅女性  
15企業28名参加)
- ▽人口減少対策・人材確保に向けた  
産学官連携懇話会（経済団体や  
有識者）
- ▽みえU18会議（高校生）
- ▽大都市圏へ転出した県出身者への  
ヒアリング



### 令和6年度の主な取組

- ・企業トップ層向けワークショップ
- ・企業トップ層の本気宣言作成
- ・働く女性のロールモデルとの交流会
- ・働き方改革推進奨励金
- ・「三重県人材確保対策推進方針  
(仮称)」を策定（予定）

### 残された課題

- ・様々な意見を聞きながら取組を進めているが、さらに人口減少対策のスピードを上げるため、**ジェンダーギャップの視点で課題を可視化**して改善につなげていく必要がある。
- ・県が特に課題と捉えている経済分野におけるジェンダーギャップについては、**取組の方向性を示し、あらゆる主体が連携してオール三重で取り組む必要がある。**

## 令和7年度の主な取組

### (1) 解消に向けた方針の策定

- 新** ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定

### (2) ニーズ把握・意見聴取

- 新** 全国ワースト2位となっている「女性の非正規雇用」に係る実態の調査や有識者・経済団体・高校生との意見交換

### (3) アンコンシャス・バイアスの解消

#### ① 職場等におけるアンコンシャス・バイアスの解消

- ・人口減少対策・人材確保に向けた産学官連携懇話会と連携し、県内企業への取組を促進
- 新** 企業トップ・リーダー層の意識啓発のため企業訪問・ワークショップを実施
- 新** 働く女性のキャリアデザイン等の支援のため女性ロールモデルとの交流会をエリアを分けて実施
- 新** 先進企業や活躍する女性等の情報を一元的に発信するためのポータルサイト構築

#### ② 男性の育児参画の促進

- 新** 職場での男性育休推進ツールの整備、企業向けセミナーの実施
- ・ 固定的性別役割分担意識にとらわれない社会の実現に向けた教育の実施

#### ③ 機運醸成

- 新** 市町や企業等の意識醸成にむけたフォーラムの開催
- ・ 企業トップ・リーダー層の本気宣言の実施

### (4) 若者(特に女性)が働きやすい環境整備

#### ① 働きやすい職場環境の整備支援

- 新** 短時間正社員制度等の導入・活用の促進(奨励金の支給、専門家による伴走支援等)
- ・ 働きやすい職場環境づくりが進むよう優良事例を表彰・広く情報発信
- 新** 農業等を対象とした女性を含む多様な人材が働きやすい環境や受入体制の整備に対する補助

#### ② 女性のキャリアアップや(再)就職の支援

- 新** 非正規雇用の正規雇用への転換を促進するため、県内企業向けセミナーを実施
- 新** 女性のデジタルスキル習得に向けた研修を実施
- ・ 若年女性等を対象に「三重で楽しみ、働く魅力」をPR、ニーズに合わせた就労支援を実施

#### ③ 家事・育児の負担軽減

- 新** 家事代行サービス利用補助の促進(みえ子ども・子育て応援総合補助金)
- 新** 保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能の強化

### (5) 働く場の確保

- 新** インキュベーション施設の整備を行う事業者への補助
- 新** 県外から企業の一部機能(調査・設計部門等)の誘致を促進するため、スタートアップやIT関連などの進出企業に対する人件費補助



## 人口減少対策の推進

「三重県人口減少対策方針」に基づいて、市町、企業等、さまざまな主体との連携により、効果的な取組につなげます。

(重点・一部新) 人口減少対策費 56,887千円  
59,249千円 (※2月補正含みベース)  
人口減少対策課 059-224-3415

### ①調査・分析

- ジェンダーギャップの解消に向けた戦略を策定します。
- 有識者からの意見聴取や県民の意識調査等をふまえ、県の将来人口推計等を示す「三重県人口ビジョン」を改定します。
- 女性の非正規雇用の正規化に向けた効果的な対策を検討するため、非正規雇用における実態調査を行います。
- 県内人口の移動状況分析、転出入者の属性分析、外国人の移動状況分析、就職に関する大学生等向けアンケートを実施します。

### ②人口減少対策広域コーディネーターによる地域の課題への対応

- コーディネーターの活動を通じ、地域内外の方が交流できる機会の創出や広域的な連携を推進します。
- 地域でのヒアリング等により抽出した現場のニーズや課題をふまえた効果的な対策を推進します。



広域連携について考えるワークショップ

### ③人口減少対策にかかる各主体との連携事業

- 市町、高等学校、高等教育機関等と連携し、LINEによる就職情報やくらしの情報を、県内外の大学生等に発信します。
- 市町との圏域別連携会議、三重県人口減少対策有識者会議の開催など、さまざまな主体と連携した取組を進めます。
- 人口減少を前提とした地域のあり方を検討する市町への支援を行います。



LINE公式アカウント「三重がまるみえ」

## 人材確保対策の推進

さまざまな分野における人材確保に向けた取組を効果的に行うための調査等を検討・実施するとともに、三重で暮らす・働く魅力を発信します。

### みえの未来を担う人材確保対策事業

10,816千円

人材確保対策課 059-224-3184

- 「三重県人材確保対策推進方針」に基づく対策について検証・検討するため、有識者からのヒアリングなどを実施します。
- 人材確保に係る有効な対策を検討するため、必要な調査を実施します。



人口減少対策・人材確保に向けた産学官連携懇話会

### (重点・新) 三重で暮らす・働く魅力の発信事業

10,119千円

人材確保対策課 059-224-3184

- 三重で暮らす・働く魅力を、移住や就職への関心がまだ高くない県内の高校生や県外大学に通う学生等の若者をターゲットにさまざまな媒体を活用して発信します。



情報発信媒体の例

結婚・妊娠・出産・子育て等の希望がない、全ての子どもが豊かに育つ三重の実現をめざす



令和5年度当初予算  
みえ子どもまるごと支援パッケージ  
98.6億円  
未来を担う子どもたちを守り育てる

<主な新規事業>

- **みえ子ども・子育て応援総合補助金を新設**
- 子ども医療費補助金における未就学児の現物給付に係る所得制限の緩和
- 保険適用のない不妊治療への助成
- **結婚応援サポーターの養成・認定、結婚を希望する人同士の引き合わせ**
- 子どもの居場所づくりと安定的な運営に対する支援
- **国児学園の整備基本計画の策定**
- いじめ予防授業の拡充
- **不登校総合支援センターの新設**

<主な成果>

- 県内市町による工夫を凝らした独自事業の創出
- 広域的な出会いの機会の創出
- 国児学園の整備基本計画の策定
- 不登校児童生徒支援の拠点設立

みえ出逢い  
サポートセンター



令和6年度当初予算  
みえ子どもまるごと支援パッケージ・2ndステージ  
106.3億円  
子どもたちの輝く未来の実現

<主な新規事業>

- **ジェンダーギャップの解消が後押しするライフステージごとに切れ目のない支援**
- 子ども医療費補助金における入院医療費の対象年齢を中学生まで拡大
- **保育士アドバイザーによるアウトリーチの相談支援**
- **保育所等社会福祉施設への指導監査の強化**
- 子ども心身発達医療センターにおける受診予約体制の拡充
- **児童相談体制の人員強化**
- 児童虐待モニタリングの県内全域への拡大
- 北勢児童相談所・一時保護所の整備基本計画の策定、国児学園の整備に向けた調査・設計
- 早期解決のためのいじめ予防プログラムの実証研究
- **フリースクールで学ぶ子どもたちへの支援**
- **校内教育支援センターの設置促進**

<主な成果>

- 虐待、不適切保育事案を踏まえた対策実施
- 子どもの居場所数の拡大
- 各種条例・計画の策定
- 校内教育支援センター設置市町の拡大



令和7年度当初予算  
みえ子どもまるごと支援パッケージ・3rdステージ  
112.4億円

子どもたちの命を守り、未来を拓く

パッケージ3年目  
5つのポイント

①「安心・安全」を保障する妊娠・出産支援

新たに拡大新生児マス・スクリーニング検査、多胎児家庭支援、不妊治療の助成拡充、若者に対するプレコンセプションケア事業検討などを加え、妊娠・出産の「安心・安全」を保障

②保育士確保に向けた対策強化

「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能強化や保育実習生受入担当者向け研修の実施など、保育士確保に向けた対策を強化

③いじめ・不登校への多様な対策・支援

いじめ未然防止&早期発見のための取組の推進、校内教育支援センターに加え「みえ四葉ヶ咲中学校」、フリースクールの活用・連携による不登校児童生徒への支援など多様な対策・支援を実施

④県内市町への支援・連携の充実

家事・育児と仕事の両立支援促進のための「みえ子ども・子育て応援総合補助金」の増額、子ども医療費補助金の拡充、ヤングケアラー支援など県内市町への支援や連携を充実

⑤「条例」×「予算」の両輪による  
施策推進の加速

3年間の積上げとして  
「条例」×「予算」の両輪を土台とした  
「長期目線での継続・拡充」+「課題・不足部分へのカバー」  
により成果へ確実にコミット

結婚・妊娠・出産・子育て等の希望がない、全ての子どもが豊かに育つ三重の実現をめざす

ライフステージごとに切れ目のない支援

ジェンダーギャップの解消

- 新 新 新 ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定
- 短時間正社員制度等の多様で柔軟な働き方の導入・活用の促進
- 企業トップ・リーダー層の意識啓発のための企業訪問・ワークショップや本気宣言の実施
- 男性の育児参画を進めるための職場環境づくりの促進 **【予算額：0.7億円】**

結婚

- 出会いの支援
  - みえ出逢いサポートセンターを核とした出会いの機会の創出
  - 新 AIマッチングシステムの導入による出会い支援の充実

妊娠・出産

- ライフプラン教育の充実 **①「安心・安全」を保障する妊娠・出産支援**
  - 大学や企業、団体等へのライフプランアドバイザーの派遣
  - 新 セミナー・検査・医師アドバイスを一体としたプレコンセプションケア事業の実施検討 **【予算額：0.5億円】**
- 不妊等に悩む方への支援
  - 新 保険適用のない不妊治療への助成拡充（先進医療等）
  - 不妊専門相談センターにおける相談支援
- 出産・育児に対する負担・不安の解消
  - 新 先天性代謝異常等の拡大新生児マス・スクリーニング検査への助成
  - 多胎児家庭や遠方の分娩取扱施設を利用する妊婦への支援
  - 新 分娩取扱施設が少ない地域への施設・設備整備や産科医受入の支援 **【予算額：5.8億円】**

子育て

- 市町の子ども・子育て支援事業等に対する支援 **④県内市町への支援・連携の充実**
    - 新 家事代行サービス利用補助の促進（みえ子ども・子育て応援総合補助金）
    - 新 子ども医療費の現物給付に係る市町補助について、対象年齢を拡大
  - 待機児童の解消、保育士等の確保・処遇改善と支援 **②保育士確保に向けた対策強化**
    - 新 「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能の強化
    - 新 保育実習生受入担当者向け研修の実施
    - 保育補助者雇上強化事業の拡充
    - 保育士支援アドバイザーによる保育士等へのアウトリーチの相談支援
    - 私立保育所等において保育士を追加配置した場合の補助
    - 保育所等社会福祉施設への社労士同行による指導監査の強化
- 【予算額：77.6億円】**

次の時代を担う子どもの支援

- 子どもの居場所づくり支援 **③いじめ・不登校への多様な対策・支援**
  - 子ども食堂運営団体等への補助
  - 新 学校に代わる居場所としてのフリースクール支援
- ヤングケアラーへの支援 **④県内市町への支援・連携の充実**
  - 関係機関職員の研修やハンドブックによる啓発
  - 新 市町が学校と連携しヤングケアラーに気づくツールとしてのアセスメントシート活用促進を通じた市町との連携強化
  - 新 高校生年代から30歳までのヤングケアラーアンケート調査
- 発達障害児等への支援
  - 電話相談やサテライト外来診療の実施など地域における切れ目のない支援体制の推進
  - 強度行動障がい者（児）支援施設への専門家による集中的訪問
- 豊かな育ちに向けた環境づくり
  - 子どもの学びや体験イベントの開催を支援する民間団体等への補助
  - 新 子ども会議（仮称）の設置による県施策への子どもの意見の反映
  - 新 キッズモニター+（プラス）の運営による子どもの意見表明の推進
  - 新 改正子ども条例及び子どもの権利についての周知・啓発

**【予算額：3.9億円】**
- 児童福祉施設の計画的な整備
  - 国児学園、北勢児童相談所・一時保護所の施設整備に向けた調査・設計
- 児童虐待対応力等の強化 **⑤「条例」×「予算」の両輪による施策推進の加速**
  - 県内全域での児童虐待モニタリング
  - 新 「子どもを虐待から守る条例」の改正をふまえた人材育成や関係機関との連携
  - 新 司法審査制度導入をふまえた児童相談所への弁護士等専門人材の増員

**【予算額：14.8億円】**
- 不登校児童生徒への多様な学びの支援の充実 **③いじめ・不登校への多様な対策・支援**
  - 新 県立「みえ四葉ヶ咲中学校」の開校
  - フリースクール等で学ぶ子どもたちへの利用料支援
  - 新 校内教育支援センターの環境充実支援の拡充
- いじめ対策の推進
  - 新 いじめ防止のために子どもアドボカシーを学ぶ教材の作成
  - 新 いじめ情報の迅速な共有と早期発見のための「いじめ対応情報管理システム」機能改善
  - スクールカウンセラー等によるいじめ当事者の悩みや課題の解消

**【予算額：9.2億円】**

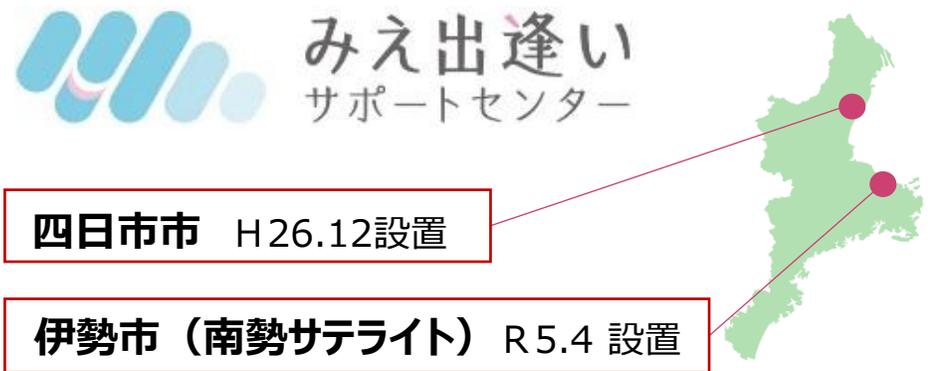
未来を拓く豊かな育ち

セーフティネットの確保

安心な環境づくり

【令和7年度当初予算(案)】8,308千円(県費:2,665千円)

## みえ出逢いサポートセンター



- 出合い・結婚に関する各種相談(登録不要、相談無料)
- 県内の出合いの機会(イベント・セミナー等)の情報提供
- マッチングシステムの運用(R7~) など

### POINT

- ・ 成婚者のエピソードを集め、HPに掲載
- ・ 成婚エピソード提供者へ記念品を贈呈

## みえ結婚支援プロジェクトチーム(P T)

### 全県P T

- 【構成員】三重県・全29市町
- 【会議】年2回(5月・12月ごろ)
- ・ 取組事例の共有
  - ・ 課題や今後の取組の検討
  - ・ 交付金の活用事例紹介 等

### 地域P T(北勢・中勢・南勢の3地域)

- 【構成員】参画希望市町(R6年度26市町)
- 【会議】3地域でそれぞれ年2回(5月・2月ごろ)
- 【事業】3地域で県と市町が協働しイベントを実施
- ※令和7年度は計10回以上

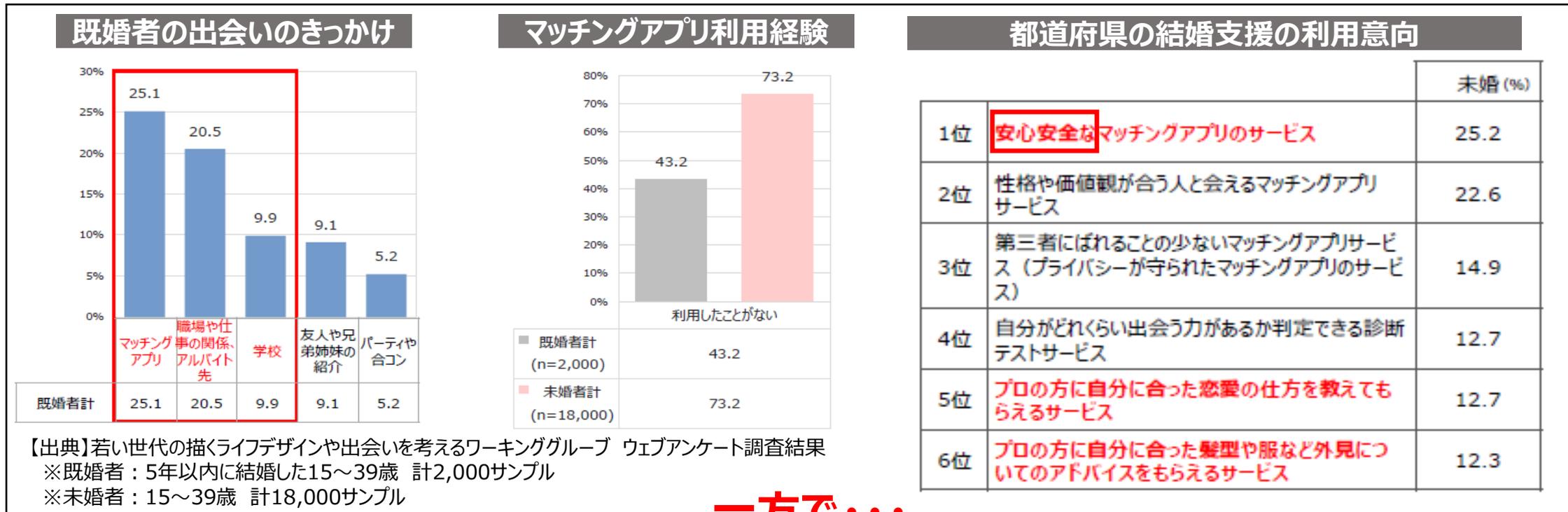
- ・ 各地域の実情に応じて市町や企業・団体等との連携を促進
- ・ 独自の結婚支援の取組を情報面・技術面からサポート

### POINT

イベントの内容や会場を充実させることで、若い世代にとって魅力のあるイベントを増加

# みえの縁むすびマッチングシステム（仮称）導入の背景

国が公表しているアンケート結果によると、若い世代の結婚に対する意識の変容が認められる。主な利用者層である若者が利用しやすく、かつ安全・安心な出会いの総量の増加につながるよう、マッチングシステムの導入を進める。



一方で...



**ロマンス詐欺の増加等、安全・安心面に不安**



**交際についての相談が難しい**



- ✓ 県が運営することや、登録時の本人確認の仕組み
- ✓ 希望に応じて地域サポーターによるマッチング同席を可能に
- ✓ さらに希望者にはマッチング後のフォローも



**安全・安心なサービス  
マッチング後の相談支援**

【令和7年度当初予算（案）】（重点事業）21,659千円（県費：5,566千円）

マッチングシステムとは・・・ Webブラウザから操作可能なWebサイト上で、登録した会員同士が、自身でお相手探しができるサービス

※マッチングアプリとは異なり、Webブラウザ上での利用を想定



## 他県の活用状況

令和6年11月12日時点：34都府県が導入 ※三重県調べ

**OITAえんむす部出会いサポートセンター**

○成婚数 累計156組	1	21	30	46	58
	H30	R1	R2	R3	R4

○テレビCMやSNSを活用し、会員登録増に向けた情報発信。  
新規会員登録者数約2倍（過去1年の月平均登録者数との比較）

**利用者の声**

- ・県のサービスなので安心
- ・結婚支援員のサポートが充実していて、結婚に対する考え方を整理してお見合いに臨むことができた

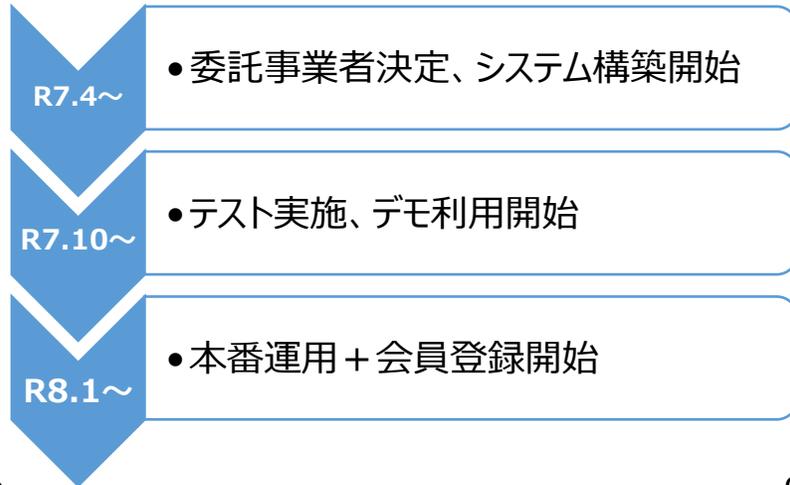
約100回放送  
約7万回視聴

テレビCM放送・YouTube等での広告配信

## システム導入によるメリット

- ✓ **出会いの総量のさらなる増加**
  - ・サポーター数によらず登録可能となるため、利用者の大幅増に
  - ・AI等によるおすすめ機能を活用し、成功率の高いマッチングを可能に
- ✓ **成婚把握の仕組みづくり**
  - ・システム上で成婚報告や退会が可能となるため、成婚把握が容易に
  - ・報告と併せてアンケートを実施し、システムの仕様にフィードバック
- ✓ **安定的な事業実施**
  - ・サポーターや利用者の募集を随時行う必要がなくなり、継続的な出会い支援の取組が可能に

## 今後の予定



出所：子ども家庭庁HP「地域少子化対策重点推進交付金令和5年度事例集」

# 移住の促進

地域づくり推進課 224-2351  
移住促進課 224-2420

- 人口減少対策における社会減対策の1つである移住の促進に向けて、移住者に実施したアンケートの分析をもとに、移住希望者のニーズや特性に応じたモデルによるプロモーションを実施し、「田舎暮らし」に加えて都市部を含む県全域への移住を促進します。
- 住まいの充実に取り組む市町等の支援や、移住者を受け入れる態勢をさらに充実させます。
- 地域おこし協力隊の定住・定着促進に向けた支援体制を強化します。

## 移住の促進と定住・定着に向けた取組の充実

### (一部新) 移住促進事業 (81,959千円)

#### プロモーションの強化

#### 新 移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションを実施

- ・SNSや雑誌掲載による様々な移住モデルに対応したアプローチ
- ・中京圏（仕事を変えない移住）に向けた名古屋駅等でのPR

#### 新 県独自の移住フェアを開催

- ・名古屋、大阪に加え、東京での県独自移住フェアを開催



駅のデジタルサイネージ

- オンラインコミュニティ「日々三重」による移住希望者に向けた情報発信と交流の場の創出
- 移住スタイル別の移住体験会など企業と連携した取組を実施

#### 相談対応の充実

- 移住相談窓口を中心としたきめ細かな相談対応を実施
- テーマや地域ごとのセミナー・相談会を対面やWEBで開催



移住相談会

### (一部新) 移住者を受け入れる態勢の充実支援事業 インフラ（住まい）の整備 (45,429千円)

#### 新 「三重県移住者の受入態勢充実支援事業補助金」による市町等への支援

- ・お試し住宅の整備に加え、体験ツアーでの利用を対象として拡充
- 県外からの移住者に対する空き家リフォーム費用を支援

#### 受入態勢の充実

- 移住者と地域をつなぐ人材を各地に育成する講座を開催
- 東京圏から移住・就職した人等を対象に、市町と連携して移住支援金を支給

### 地域おこし協力隊サポート事業 (8,436千円)

#### 定住・定着促進に向けた支援体制の強化

**募集・受入時** 隊員受入市町の  
課題分析・共有、助言・提案

**任期中** 隊員間のつながりづくりの  
ための交流会を実施

**退任後** 定住に向けた相談体制の強化

- 隊員・市町職員向けの研修会を実施



地域おこし協力隊の  
交流会

# 労働力不足対策の推進

雇用対策課 ①、②、③、④ 224-2454  
障がい者雇用・就労促進課 ⑤、⑥、⑦、⑧ 224-2461

労働力不足の解消に向け、魅力ある職場環境づくりに取り組む県内企業を支援します。また、企業の人材確保に向けた取組を後押しするとともに、若者や女性、外国人、高齢者、障がい者など、多様な人材の就労を支援します。

## 働きやすい職場環境づくり

### ① (一部新) 働き方改革総合推進事業 32,405千円 (雇用対策課)

「みえの働き方改革推進企業」登録・表彰制度や、働き方改革推進奨励金の支給に加え、新たに短時間正社員制度等の多様な働き方の導入・活用を促進することで、誰もがライフステージの変化等に応じて柔軟に働き続けられる職場環境づくりに取り組みます。

### ② (新) カスタマーハラスメント防止対策推進事業

21,753千円 (雇用対策課)

カスタマーハラスメントの発生を社会全体で防止し、県内で働く労働者の就業環境を守るため、条例や指針を整備するとともに、県内企業が取り組む防止対策への支援や情報発信を行います。



## 多様な人材の就労・定着に向けた支援

### 【若者・女性】

### ③ (一部新) 若者の地元就職促進・定着支援事業

38,291千円 (雇用対策課)

若者等の県内就職を促進するため、就職活動の環境変化に応じた支援や、効果的な情報発信を行います。また、県内企業の採用力向上を支援するとともに、若者等とのマッチング機会を創出します。

### ④ (一部新) 女性の県内就労総合推進事業

18,690千円 (雇用対策課)

県内外の女性求職者等に、「三重で楽しみ、働く魅力」をPRするとともに、女性一人ひとりのニーズに合わせた支援を行います。また、非正規雇用の女性等の正規雇用化を促進するため、新たに対象者への情報発信や企業向けのセミナーを実施します。

### 【外国人】

### ⑤ (一部新) 外国人材雇用・就労支援事業

29,192千円 (障がい者雇用・就労促進課)

外国人労働者が安心して働くことのできる職場環境づくりを進めるため、県内企業向けセミナーや外国人向けの合同企業説明会等を開催します。また、総合的な相談窓口の設置や県内企業が外国人労働者の受入れ後に実施する取組への支援に関する調査・研究を行います。

### ⑥ (一部新) 外国人材確保支援事業

56,476千円 (障がい者雇用・就労促進課)

高度外国人材の採用をめざす県内企業を支援するため、海外での合同面接会をベトナムに加え、新たにインドネシアにおいても開催し、現地の大学生等と県内企業とのマッチング機会を創出します。



### 【高齢者】

### ⑦ (一部新) 生涯現役促進地域連携事業

10,897千円 (障がい者雇用・就労促進課)

高齢者が安心して就労できる職場環境づくりに向け、県内企業向けセミナーや個別相談会を開催します。また、求職者の再就職に向けたセミナーや、キャリアコンサルタント等による個別相談会を開催します。



### 【障がい者】

### ⑧ (一部新) はじめての障がい者雇用支援事業

5,000千円 (障がい者雇用・就労促進課)

障がい者雇用を検討する県内企業等に専門家を派遣し、それぞれの企業に寄り添った伴走支援を行います。また、県内各地域で企業と就労支援機関等との交流会を開催します。